

わたしと笠間 4

「絵画と写真で巡る大鉄道展」の二つのジオラマ

常磐線がようやく東京駅に乗り入れることとなった。上野発の常磐線はたびたび利用したが、乗換が多く不便であったので嬉しいことである。笠間日動美術館では、JR水戸支社の共催を得て「絵画と写真で巡る大鉄道展」を開催した。

この展覧会では二つのジオラマを展示している。一つは写真家の中井精也さんが監修し、ソニーマーケティング株式会社のご協力で実現した巨大なジオラマである。笠間に合わせ、お稲荷さんを作り狐の面を被った娘を配置し、参道の商店で買った小さな狐も置いてある。

また、桜が美しいことで有名な笠間のため、急遽桜の木を設置したという。農作物の生産が全国でもトップの茨城県らしく、畑も全面にある。その細かい配慮が素晴らしい。その中を走るレトロな電車で、子供も大人も惹きつけられることと思う。

もう一つのジオラマは、東京藝術大学教授の木津文哉さんの作品である。こちらは、虫眼鏡を使わないと見えないような小ささである。根気よく長年かけて制作されていること

を聞いて出品をお願いした。藝大教授としてお忙しい中、ジオラマ制作は大変だと思うが、先生の楽しみでもあったと想像する。あまりにも小さいので観る人にわかりづらいだろうと、部分を拡大した写真も展示した。私もそれを見て、初めて凄と思った。

この展覧会から小学生、中学生を無料とした。鉄道をテーマにした展覧会は面白い。

ぜひ、ご家族でご来館いただきましたと思う。



中井精也監修ジオラマ

笠間日動美術館 副館長 長谷川智恵子

第15代 かさま観光大使を紹介します!

市の観光イベントや県内外の観光キャンペーンで活躍するかさま観光大使の第15代目に、飯田舞さんと柳橋杏奈さんの2人が選ばれました。

先輩の第14代目大使2人とともに、平成27年4月から29年3月までの2年間、笠間市の観光PRを行っていきます。

皆さん、よろしくお願いします!

飯田 舞 (小美玉市出身)

かさま観光大使としての抱負

1人ひとりとの出会いを大切にしながら、笠間市の知名度をさらに拡大できるよう精一杯努めていきたいと思えます。

柳橋 杏奈 (笠間市出身)

かさま観光大使としての抱負

笠間市出身として、大好きな笠間市の魅力を多くの方々に伝えられるよう、いつでも笑顔で元気にがんばります。

